

平成22年度大学院薬科学研究科の修士論文発表会は以下のプログラムで開催された。各論文の要旨を掲載する。

修士論文発表会プログラム

日時：平成23年2月15日（火）午前10時 203講義室

研究科長挨拶（10:00～10:05）

【座長 村木 教授】

1. カドミウムによる鉄吸収関連遺伝子の発現抑制

環境衛生学

坂野 博紀

(10:05～10:25)

2. 口腔内細菌叢の網羅的多様性解析

微生物学

神谷 保吉

(10:25～10:45)

【座長 杉山 教授】

3. *Helicobacter cinaedi*のヒト臨床分離株と動物分離株の分子遺伝学的解析

微生物学

藤高 由貴

(10:45～11:05)

4. ラット延髄孤束核における興奮性シナプス伝達に対するセロトニンの効果

神経薬理学

竹中 亮介

(11:05～11:25)

【座長 岩本 教授】

5. 外来・入院患者ならびに地域住民を対象としたお薬セミナー

～医薬品適正使用の推進における薬剤師の社会貢献の評価～

医療薬剤学

長谷川直樹

(11:25～11:45)

【座長 廣田 教授】

6. 新規フタロシアニン誘導体のがんに対する光線力学治療の研究

化学療法学

柏木 拓人

(12:50～13:10)

7. 悪性中皮腫細胞におけるペメトレキセド耐性機序の解明

化学療法学

川崎 泰裕

(13:10～13:30)

【座長 河村 教授】

8. 核内受容体PPAR δ リガンドの探索と筋委縮への応用

天然薬物作用学

勝川 千尋

(13:30～13:50)

9. 生薬を基盤としたインスリン抵抗性改善天然化合物の探索

天然薬物作用学

高木三千代

(13:50～14:10)

【座長 横沢 教授】

10. 天然由来レチノイン酸受容体アゴニストの探索と機能解析
天然薬物作用学
安井 友浩
(14:10～14:30)
11. in vitro共存培養系を用いた感覚神経とマスト細胞の接着におけるN-cadherinの役割の研究
免疫細胞情報学
柴田 麻希
(14:40～15:00)

【座長 井上 教授】

12. マスト細胞ミトコンドリア内のカルシウムイメージング
免疫細胞情報学
竹川まり恵
(15:00～15:30)
13. バイオフィルム感染症治療を目的とした生分解性ナノ粒子の設計
製 剤 学
池田 利央
(15:20～15:40)

【座長 山村 教授】

14. 脳内への薬物送達を目的としたポリ乳酸・グリコール酸ナノスフェアの設計
製 剤 学
加藤 能豊
(15:40～16:00)
15. 核酸医薬の経粘膜投与を目指した微粒子製剤の設計
製 剤 学
佐村 聡太
(16:00～16:20)